



第 3 章 基本目標と施策の展開

基本目標 1

魅力ある地域づくりと特性を活かした軽井沢ブランドの形成



● 長期振興計画に関連する分野 ●

基本政策 2 2-1 自然環境 2-2 環境負荷低減 基本政策 3 3-4 景観 3-6 商工業 3-7 農林業

〈基本的方向〉

軽井沢ブランドデザインの考え方を踏まえ、50年後・100年後を見据えて、これからも住民と協働により豊かな自然環境や美しい景観など地域の魅力を磨き上げることは、持続可能なまちづくりを進める基本となります。

その上に立って、少子高齢化の進行により、生産年齢人口が減少している中で、本町の強みを生かしたブランド力の基盤となる産業の振興を図り、若者の地元への就労促進や企業誘致などによる働く人が魅力を感じる雇用の場の確保を図ります。

〈数値目標〉

数値目標	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
自然保護対策要綱の遵守率	%	100.0	100.0

施策の枠組 1

100年後を見据えた環境デザイン

① 伝統と優れた自然や景観の保持



長い時間をかけて培われた伝統と緑豊かな軽井沢らしい景観を自ら守り育てながら、生物多様性を保全し、持続可能な人と自然が共生する潤い豊かな環境の保持に努めます。

また、「軽井沢町まちづくり基本条例」の理念に基づき設置された住民主体の軽井沢22世紀風土フォーラムをはじめとした様々な住民と協働によるまちづくり活動を推進します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
のぼり旗、電光掲示板等の不適広告物の是正件数	件	18	0
公共サイン更新件数 (累計)	件	—	10
景観育成住民協定締結団体数 (累計)	団体	1	3



〈主な取り組み〉

- ◇生物多様性の保全
- ◇特定外来生物の生息域の情報共有と住民との協働による駆除
- ◇屋外広告物条例等適用の推進と職員による不適広告物撤去指導パトロール
- ◇公共サインガイドラインに基づく公共サインの更新
- ◇住民主導のまちなみ景観基準策定意識の醸成
- ◇エリア別ビジョンの周知
- ◇住民と協働による都市公園の維持・管理と魅力化推進

②持続可能な環境先進都市づくり



地球温暖化の深刻な影響を回避するため、環境に配慮した生活様式の定着や再生可能エネルギーの有効活用等による脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進し、環境にやさしい持続可能なまちづくりを目指します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
グリーン購入割合	%	88.9	100.0
電気自動車用急速充電器の設置数 (累計)	か所	2	8
環境配慮型の住宅の普及数 (累計)	件	—	120
廃棄物のリサイクル率	%	21.0	28.0

〈主な取り組み〉

- ◇次世代自動車の普及や公共交通網の脱炭素化の推進
- ◇公共施設のZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) 化や住宅のZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) 化推進によるCO₂削減
- ◇小水力発電等による設備電力供給の研究
- ◇ごみの4 R運動の推進
- ◇プラスチックの再利用の促進



施策の枠組 2

ブランド力の基盤となる産業の振興

①新規就業者・後継者の育成



軽井沢ブランドの基盤となる農業においては、新規就農者の育成・確保、遊休農地を活用した研修等による認定農業者の育成など、担い手の育成を行います。また、農地の利用促進による耕作放棄地の減少を目指すとともに、生産性の高い農業を目指します。

地域経済の要となる観光産業を支える商業においては、新規出店者に対しチャレンジショップの活用支援や関係団体と連携による空き店舗を利用したまちづくりを推進します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
新規就農者数 (累計)	人	2	10
チャレンジショップ出店後に町内で開業した店舗数 (累計)	店	12	18

〈主な取り組み〉

- ◇経営開始時に必要な農地の確保や農業用機械等の取得に対する支援
- ◇働きやすい職場環境の促進
- ◇空き店舗を活かした地域の活性化

②新たな軽井沢ブランドの推進

観光産業を軸とし、1次×2次×3次産業の連携を強め、6次産業の多角化の推進により、新たな収益源の確保を目指します。

町内企業間の底上げをするため、地域産業の連携を図り、軽井沢独自の自然・歴史・文化を活かした個性ある軽井沢ブランド商品の開発、販路開拓やPR等を支援します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
軽井沢ブランド認定数 (累計)	件	16	30
発地市庭直売所の町内会員数 (累計)	人	105	130

〈主な取り組み〉

- ◇発地市庭の利用促進
- ◇軽井沢ブランドの認定とPRの促進
- ◇各産業間の連携によるブランド商品としての展開



③軽井沢にふさわしい新しい産業の育成



大学や地域の企業との産官学連携を軸に、新商品・新サービス、新しいビジネスモデルの開発などにより、本町にふさわしい付加価値の高い企業への転換を促進するとともに、地域に定着し発展していく企業等と連携を図ります。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
創業支援者数 (累計)	者	63	70

〈主な取り組み〉

- ◇産官学連携による創業支援



基本目標 2

軽井沢へ新しい人の流れを生み出す



● 長期振興計画に関連する分野 ●

基本政策 1 1-2 シティ・プロモーション 基本政策 3 3-3 交通 3-5 観光

〈基本的方向〉

国内外に、本町の魅力を戦略的・効果的に発信するとともに、軽井沢ならではの資源を活用し、本町のにぎわいと活気に欠かせない交流・関係人口の創出に取り組みます。

また、住民や観光客の利便性向上を目指して交通ネットワークの充実を図り、子どもから高齢者まで、誰もが安心して利用しやすい交通手段が日常的に確保されるように取り組むことで、住民生活の質の向上につなげます。

〈数値目標〉

数値目標	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
純移動数 (5年間累計)*	件	536	928
観光客数	万人	840 (2019年)	850

*人口ビジョンより算出した、転入数から転出数を差し引いた社会増減

施策の枠組 1

高原保養都市としての観光の振興

① 軽井沢ブランドを活かした観光振興

本町の観光資源に更に磨きをかけ、訪れて快適に過ごせる環境を整え、にぎわいがあふれるまちを目指します。

自然・歴史・文化等を探求できるエコツーリズムの推進や、広域連携も含めた他地域と連携による周遊促進を図り、本町を中心として長期滞在ができるような軽井沢リゾート生活圏の形成を進めます。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
別荘平均利用日数	日	17 (2019年)	22
一人当たり1日平均観光消費額	円	3,200 (2019年)	3,500
インバウンド数	万人	20 (2019年)	30



〈主な取り組み〉

- ◇滞在型リゾート圏の形成とコア機能の構築
- ◇SNS等を利用した情報発信、旅行前の情報提供
- ◇オーバーツーリズムの抑制に向けた季節の分散化によるイベント等の開催
- ◇保健休養地としての特性・環境を活かした療養機能の充実

②公共交通機関の利便性の向上

既存の交通網の充実や新たな公共交通施策の導入により、人と環境にやさしい住民や観光客が利用しやすい公共交通ネットワークを形成します。

また、ゴールデンウィークや夏期のオーバーツーリズムによる交通渋滞を解消するため、ICT、AI等の技術を活用した交通混雑の緩和を図ります。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
しなの鉄道町内3駅利用客数	万人	177 (2019年)	180
町内循環バス乗降客数	人	94,946 (2019年)	105,000

〈主な取り組み〉

- ◇しなの鉄道や町内循環バスの利用促進と利便性の向上
- ◇パーク&レールライドシステムの推進
- ◇デマンド交通の検討

施策の枠組 2

にぎわい創出へ向けた交流の拡大

①シティ・プロモーションの推進



ICTを活用し、本町の魅力を軽井沢ブランドとして、戦略的・効果的に発信することによって、認知度や知名度を更に向上させ、行きたいまち、住みたいまちとして発展することを目指します。

また、G7交通大臣会合、G20エネルギー・環境大臣会合が開催された国際会議都市として国内外にアピールし、日本有数のリゾート会議都市を目指します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
SNSの登録者数	件	3,537	13,000
MICE開催件数	件	130	150
さわやか軽井沢ふるさと寄附金件数	件	—	6,000

〈主な取り組み〉

- ◇SNS (Twitter、Facebook、LINE、YouTube) 等を活用した継続的な魅力の発信



- ◇軽井沢リゾート会議都市推進協議会と連携した会議都市の魅力発信
- ◇国際会議によるガイド（英語等）派遣体制の確立
- ◇プロモーション活動推進事業の充実

②文化振興・スポーツによる地域振興

保健休養地として築かれてきた国際性豊かな歴史や文化に親しめる環境を最大限に活かし、文化性の高い保養地の実現に向けて、貴重な文化財の活用や文化施設の一層の充実と活用に努めます。

年間を通した、総合的なスポーツリゾートとして、スポーツ協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブと連携し、多様化したニーズにも応える持続的なスポーツ活動の展開、スポーツの普及振興を図ります。

公民館や図書館等を拠点に、住民のニーズに則した多様な生涯学習の機会を提供するとともに、自然、動植物、歴史・文化、スポーツ、健康等の様々なツーリズムの推進をしていきます。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値（2020年）	目標値（2027年）
体験型ツーリズムのプログラム数	コース	0	5

〈主な取り組み〉

- ◇エコ、文化、スポーツ等のツーリズムプログラムの確立
- ◇スポーツ合宿誘致の推進
- ◇文化活動の支援
- ◇各分野のツアーガイド確保によるガイド育成

③国際交流の振興

国際化の進展に伴い、外国人観光客や外国人住民の増加がみられる中、姉妹都市交流などの国際交流事業を充実し、国際感覚に優れた人づくりや国際性に富んだ地域社会を形成していく取り組みを推進します。

また、外国人にもわかりやすいホームページやメール配信、SNSによる情報発信を積極的に行います。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値（2020年）	目標値（2027年）
姉妹都市国際交流事業への派遣生徒数	人	10 (2019年)	10
ホームページ（外国語版）アクセス数	件	6,366	11,000

〈主な取り組み〉

- ◇姉妹都市カナダ国ウィスラー市との学生交流の実施
- ◇町内の小中学校とユナイテッド・ワールド・カレッジISAKジャパンとの交流事業の支援
- ◇誰もがわかりやすく、見やすいホームページやメール配信、SNSの実施
- ◇やさしい日本語による外国人向けの情報伝達の工夫

基本
目標 3

ふるさと軽井沢で子どもを産み・育む環境をつくる



● 長期振興計画に関連する分野 ●

基本政策 1 1-1 少子化対策

基本政策 4 4-2 地域包括ケア

4-3 教育

基本政策 5 5-2 住民参画

〈基本的方向〉

新しい生活様式にも対応しながら、妊娠・出産から育児までの切れ目のない支援や女性の活躍支援を行い、若い世代が安心して結婚、出産、子育てができるよう環境を整えます。

地域全体で、次代を担う子どもたちの社会性や心身共にたくましく生きていく人間性の育成に努め、すべての子どもが地域の中で健やかに育つことができる環境づくりを進めます。

男女共同参画（ジェンダー平等）社会の実現に向けて、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮し、自分らしく生きることのできるまちづくりを目指します。

〈数値目標〉

数値目標	単位	基準値（2020年）	目標値（2027年）
合計特殊出生率*	—	1.22	1.40
20歳代・30歳代の転入超過数	人	71	138（5年累計）

* 基準値は住民基本台帳と出生数により算出、目標値は人口ビジョンから算出

施策の枠組 1

軽井沢の次代を担う子どもたちへの支援

① 子育て世代への経済的支援

町民の妊娠・出産・子育ての希望をかなえるために、第1子からの出産祝金の支給、福祉医療制度の充実、学校給食費の無償化等、多様な経済的支援を継続・拡充し、切れ目のない支援を行います。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値（2020年）	目標値（2027年）
出産祝金給付件数	件	132	147

〈主な取り組み〉

◇ 学校給食費の無償化



- ◇不妊治療の経済的負担の軽減
- ◇福祉医療制度の充実

②子育て環境の整備



すべての子育て家庭が安心して子育てできるように、多様な保育サービスを充実するとともに、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化、ファミリーサポートセンター事業の実施など関係機関が連携し、子育てを地域全体で支える環境づくりを推進します。

また、身近な医療体制の充実や妊婦乳児一般健診等の各種検診の受診促進など、母子保健事業をはじめ妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を推進します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
子育て支援センターの登録者数	人	854	880
ファミリーサポートセンター事業会員数	人	40	100
子育てしやすさの満足度*			
就学前児童保護者	指数	57.6	80.0
小学生保護者		48.7	80.0
		(2019年)	

*子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果（令和元年度（2019））

〈主な取り組み〉

- ◇子育て支援拠点（子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点）の整備と機能の充実
- ◇地域と連携した子育ての環境づくり
- ◇母子保健事業の充実

③教育環境の充実



VUCA時代の中で、確かな学力の向上を図るとともに、児童・生徒の社会性や心身共にたくましく生きていく人間性の育成に努めます。

安全・安心で快適に利用できるICT環境の継続的な整備と教員への継続的な支援により、新しい時代に求められる子どもの資質・能力を育てます。

また、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるよう、食育を推進します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
イマージョン教育講師数	人	1	4
学校給食応援隊取り扱い野菜品目数	品	6	10

〈主な取り組み〉

- ◇グローバル化時代に対応したICT教育、国際理解教育、実践英語教育等の推進
- ◇地域との連携による軽井沢らしいコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の充実
- ◇教職員の資質の向上



- ◇学校施設設備の整備の充実
- ◇健康指導・相談体制の充実
- ◇学校給食応援隊の活動支援による食育の推進

施策の枠組 2

ワーク・ライフ・バランスの向上

①男女共同参画（ジェンダー平等）の推進

誰もが互いに人権を尊重しつつ、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、その個性と能力を十分に発揮できるよう、性別による制約の解消や女性の活躍促進に向けた取り組みを推進します。

また、男性の妊娠・出産・育児への理解を深め、父親になるための自覚を促すことを目的に、妊婦とパートナーを対象に、育児について学ぶ機会づくりを充実します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値（2020年）	目標値（2027年）
人権教育・啓発活動回数	回	6	9
委員会等の女性の構成率	%	28.0	40.0
プレママパパ教室のパートナー参加率	%	11.0	20.0

〈主な取り組み〉

- ◇性別による制約の解消に向けた取り組み
- ◇女性の活躍促進に向けた取り組み
- ◇プレママパパ教室の開催

②多様な働き方の実現



男女ともに仕事も家庭も大事にしながら働き続けることができるよう、育児休業制度の普及を進めるとともに、従来の働き方を見直し、ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）環境を推進します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値（2020年）	目標値（2027年）
テレワーク施設か所数	か所	25	30

〈主な取り組み〉

- ◇若い世代をターゲットとした官民一体の就労環境の整備
- ◇ワーケーションの推進
- ◇働き方の見直しに向けた啓発
- ◇子育て後の再就業支援



基本
目標 4

参画・協働による安全・安心な地域づくり



● 長期振興計画に関連する分野 ●

基本政策 3 3-2 防災 基本政策 4 4-2 地域包括ケア 基本政策 5 5-2 住民参画 5-3 都市運営

〈基本的方向〉

住民が住み慣れた地域で安全・安心に暮らすことができるよう、都市基盤の強靭化を図るとともに、防災や防犯に対する地域力を高めます。

また、地域共生社会の実現のため、地域住民や地域の多様な主体が参画し、それぞれ役割をもって生きがいを共につくり、高め合うことができるまちづくりを目指します。

風土自治の実現に向け、自らのふるさとを自らで守る意識の醸成を図り、住民と行政が共に考え行動する「風土自治」実践のしくみである軽井沢22世紀風土フォーラムをはじめとした、住民主体のまちづくり活動への支援を行います。

〈数値目標〉

数値目標	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
自主防災組織設立数	か所	13	20
ボランティア講座等の受講者数	人	263	330

施策の枠組 1 安全・安心な生活環境の整備

① 都市基盤の強靭化

様々な自然災害の被害を軽減し、都市機能を維持するため、耐震化による建築物の安全性の確保や道路や河川整備によるライフラインの強化を進めます。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
準用河川・普通河川の整備延長	m	0	100
町道の道路補修工事延長	m	3,950	4,000
橋梁長寿命化済か所数 (累計)	か所	13	20
住宅耐震診断件数	件	10	10



〈主な取り組み〉

- ◇河川の整備
- ◇浸透舗装や路盤補強工の促進
- ◇大規模盛土造成地の調査
- ◇住宅耐震診断・住宅耐震補強補助
- ◇倒木による停電被害防止のための敷地内樹木管理の指導・啓発

②地域包括ケアシステムの深化

高齢者だけではなく、障がい者や子どもなど、地域で暮らすすべての人々が地域、暮らし、生きがいをともにつくり、高め合うことができる「地域共生社会」を実現するため、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできるしくみを構築します。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
避難行動要支援者名簿登録者支援率	%	77.6	90.0
介護サービスに満足している割合*	%	90.6 (2019年)	92.7

*高齢者等実態調査結果（令和元年度（2019））

〈主な取り組み〉

- ◇災害時や緊急時に備えた一人暮らしの高齢者や障がい者など要支援者の情報共有
- ◇重層的支援体制の整備
- ◇災害時住民支え合いマップの活用や見守り活動の推進
- ◇高齢者福祉と介護を支える体制の充実
- ◇障がい福祉サービス提供体制の充実

③防犯・防災力の強化

自然災害への備えを充実し、地域防災力を高めるためにも、防災意識を高め、備蓄品の拡充、自主防災組織の結成促進、災害時の迅速・正確な情報伝達手段の多様化などを推進します。

また、犯罪被害防止のため、LED防犯灯の新設や特殊詐欺被害装置の設置を促進する環境整備を行います。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
消防団員数	人	293	362
消火栓・防火水槽設置数（累計）	基	1,013	1,030
LED防犯灯設置数（累計）	灯	2,906	3,100
消費者被害防止対策機器の補助金件数（累計）	件	8	100



〈主な取り組み〉

- ◇自主防災組織結成の支援
- ◇防災教育の推進
- ◇消防団員の確保、消防・救急訓練の実施
- ◇消防施設の充実（消火栓・防火水槽）
- ◇避難所の感染症対策の充実
- ◇防犯灯の新設
- ◇子どもの安全を守る児童見守りの充実
- ◇老朽危険建物の発生の抑制と危険な建物の所有者の管理意識の促進
- ◇専門相談機関の紹介や注意喚起情報の提供による消費者保護の推進

施策の枠組 2

風土自治のまちづくり

①風土自治の推進



持続可能なまちづくりのため、自らのふるさとを自らで守る意識の醸成を図ります。

住民と行政がお互いに役割を認め合う中で、住民がともに支え合い、地域に住むすべての人が心豊かに暮らすことができるよう活力に満ちた個性豊かなまちを目指します。

また、多様化・複雑化した住民のニーズに的確に答えるため、大学との連携を図り、健康分野や教育分野をはじめとした各分野における様々な課題研究に取り組みます。

〈施策の目標〉

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (2020年)	目標値 (2027年)
地域の課題解決支援件数 (累計)	件	1	3

〈主な取り組み〉

- ◇ボランティア活動・NPO活動の支援
- ◇住民主体のまちづくり活動の支援
- ◇地域コミュニティへの参加と交流の促進（区組織の周知・加入促進）
- ◇地域活動の活性化（区組織への支援）
- ◇大学等との連携による研究事業の促進